

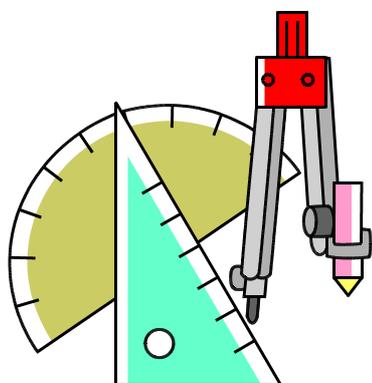
平成14年度

1. 『教研式 CRT- 検査結果』(2003年2月実施)

2. 『児童の学習意欲に関する実態調査結果』

(2003年2月実施)

仙台市立黒松小学校研究部



【CRT - 検査】

1. 算数における全国通過率の変容
2. 算数の正答率分布
3. 観点別得点率
4. 領域別通過率(全校・各学年)

【学習意欲に関する実態調査】

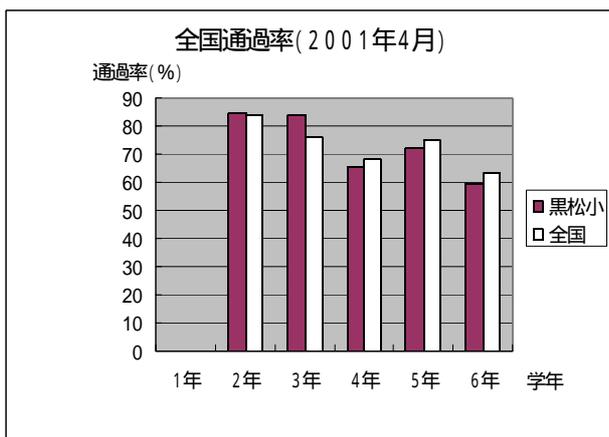
- F1: 積極性・探索・探究・創意
- F2: 目標設定・計画性
- F3: 努力・集中・継続
- F4: 学習態度・学習習慣・規範

1. 教研式 CRT- 検査結果

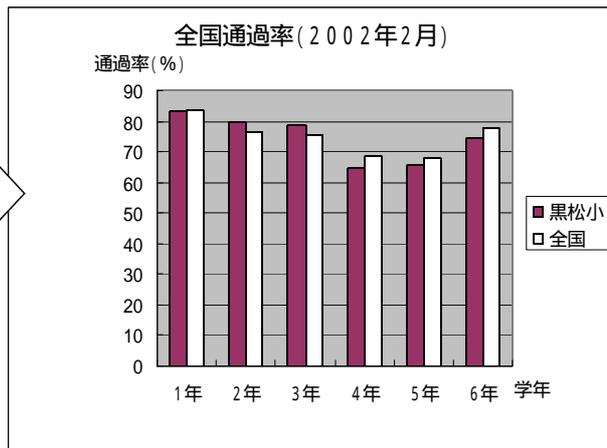
・算数における全国通過率の変容

ほとんどの学年で、得点率が全国平均を上回っている。13年度4月、同2月のデータと比較すると、特に4年生以上の伸びが著しい。

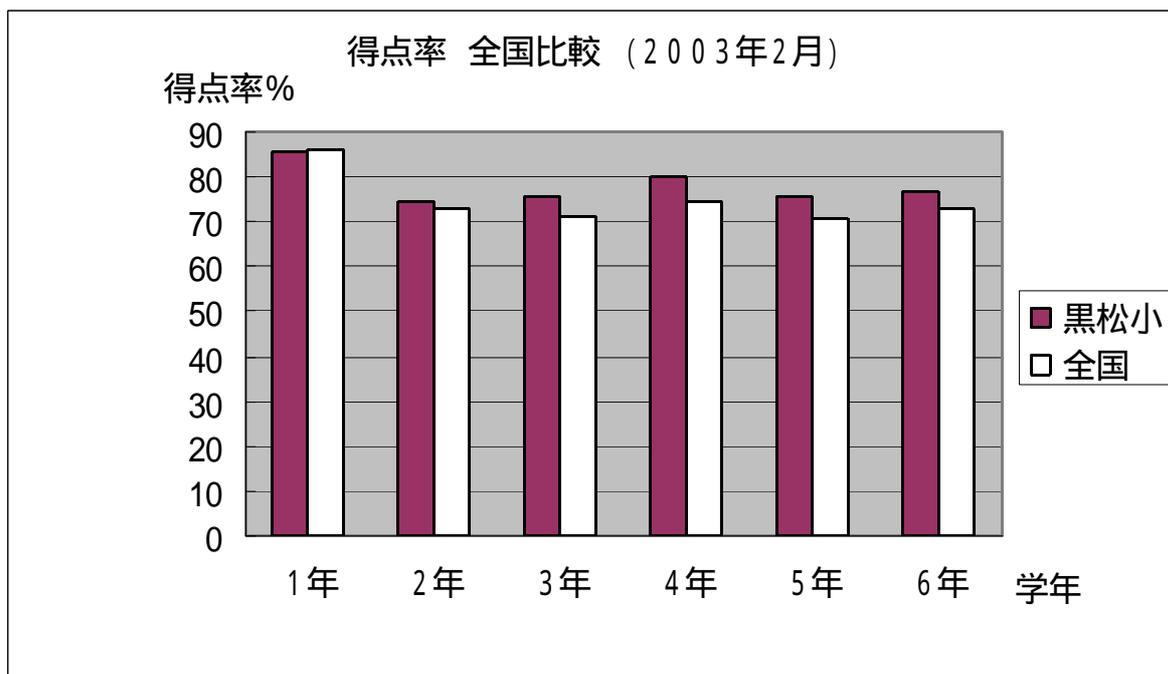
(1) 2001年4月検査(2年以上実施)



(2) 2002年2月検査(全学年実施)



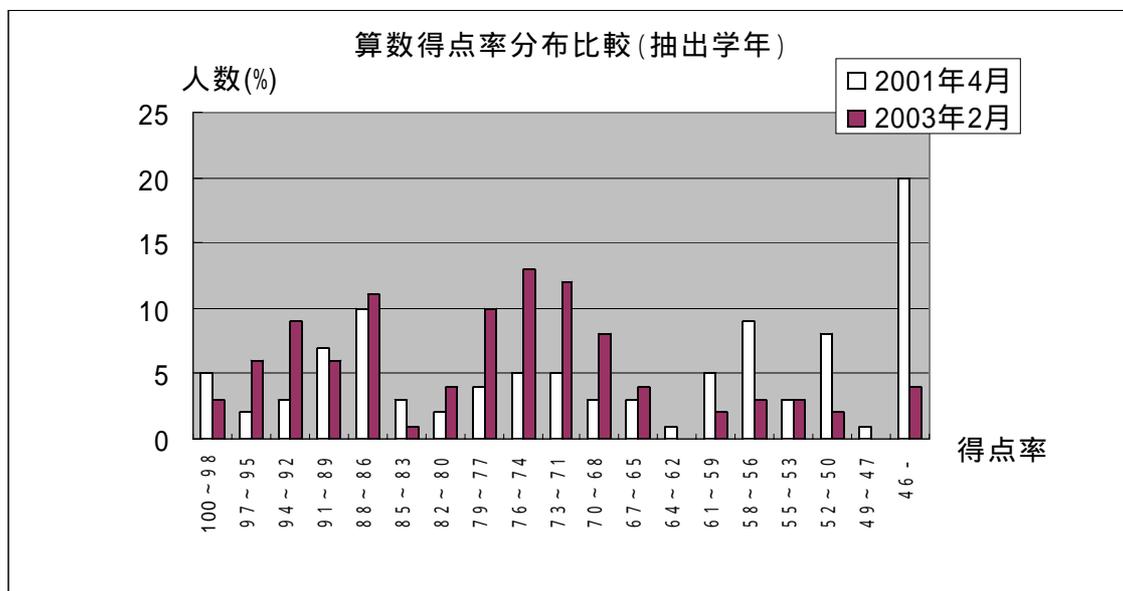
(3) 2003年2月(全学年実施)



注) 今年度より「通過率」の代わりに「得点率」の名称が使われているが、意味する内容は同じである。

・算数の正答率分布

2001年4月の得点率の分布を比較すると、60以下が激減し、その分中・高得点層が増え、全体としての底上げが図られた。
一方、中、下位群に対して最上位群の伸び率は大きくはない。

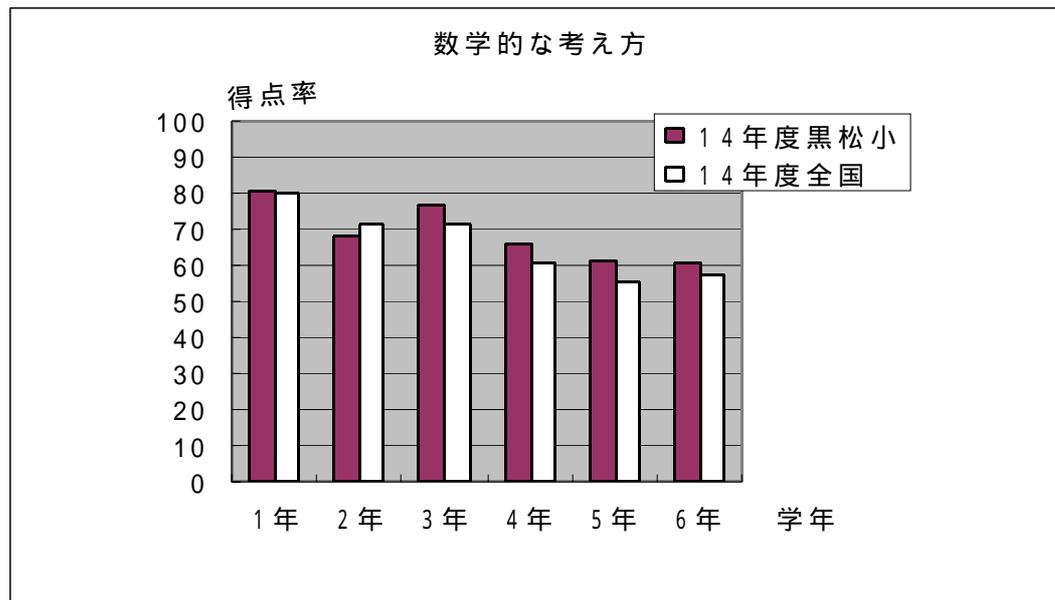


注) 2001年4月の時点でもっとも分布に開きのあった学年を抽出し変容を比較

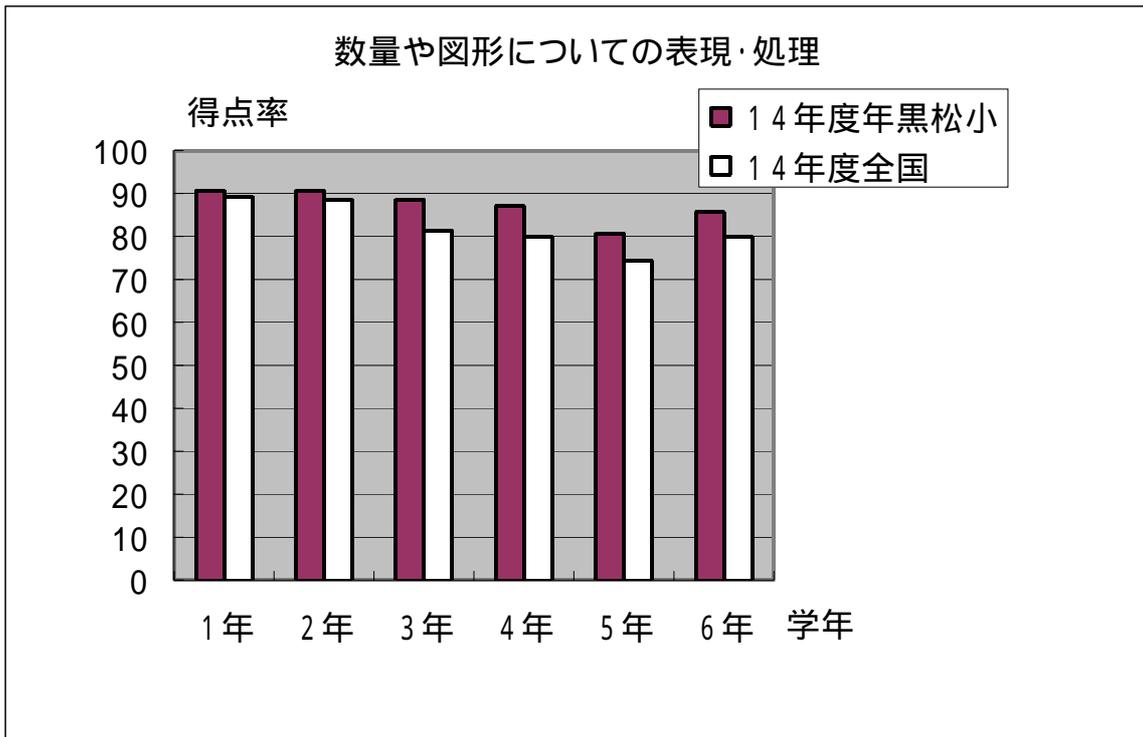
・観点別得点率

観点別得点率では、学校全体としてみると、ほぼ全国平均を上回っている。しかし、「表現・処理」に比べ、「数学的な思考」「知識・理解」の伸び率がそれほど大きくない。また、学年によっては、若干だが全国平均を下回る結果も見られる。

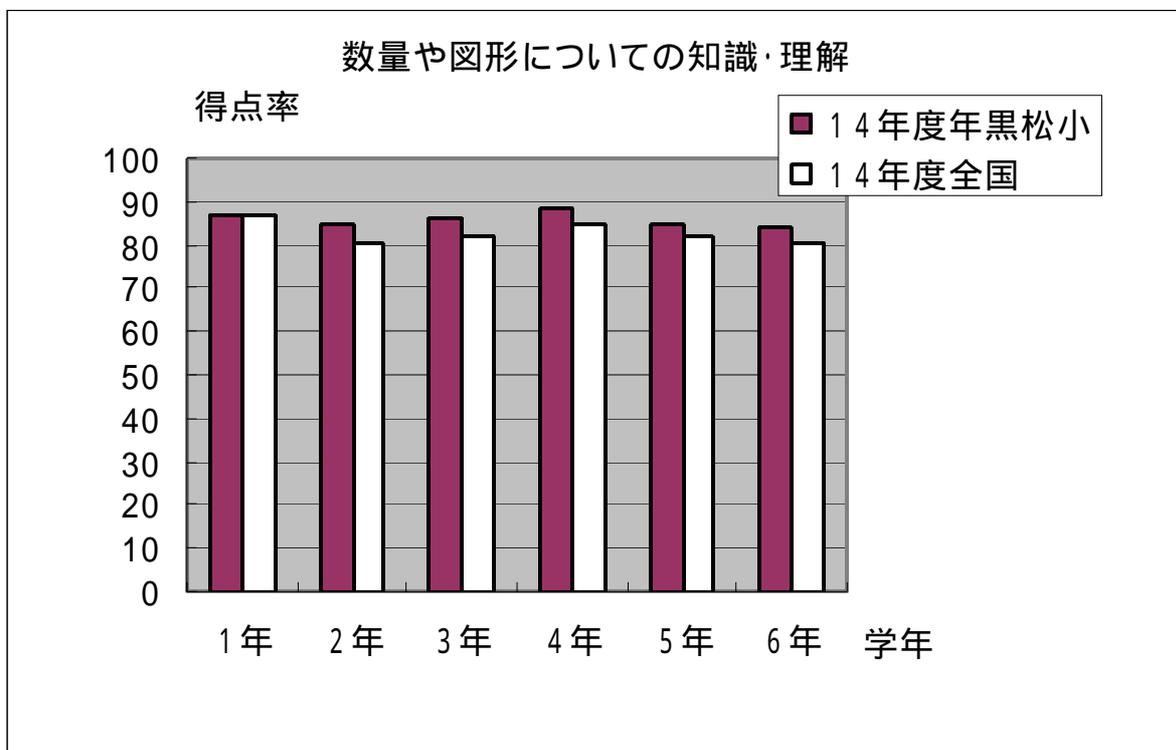
(1) 数学的な考え方



(2) 数量や図形についての表現・処理



(3) 数量や図形についての知識理解

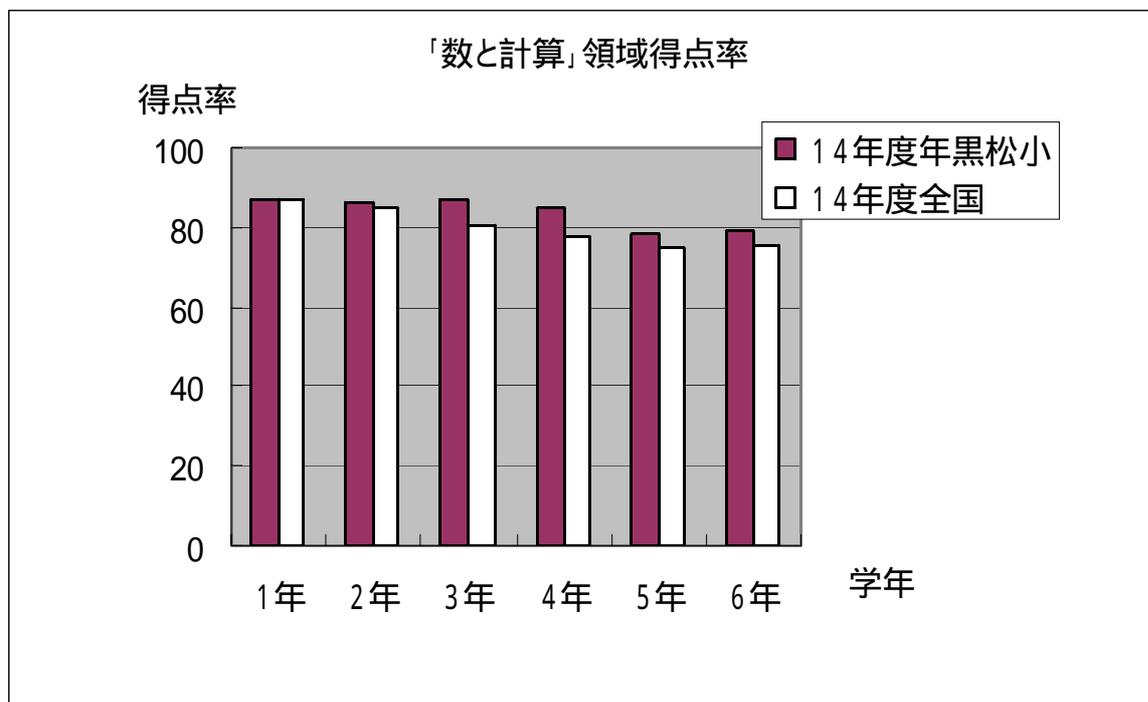


・領域別通過率

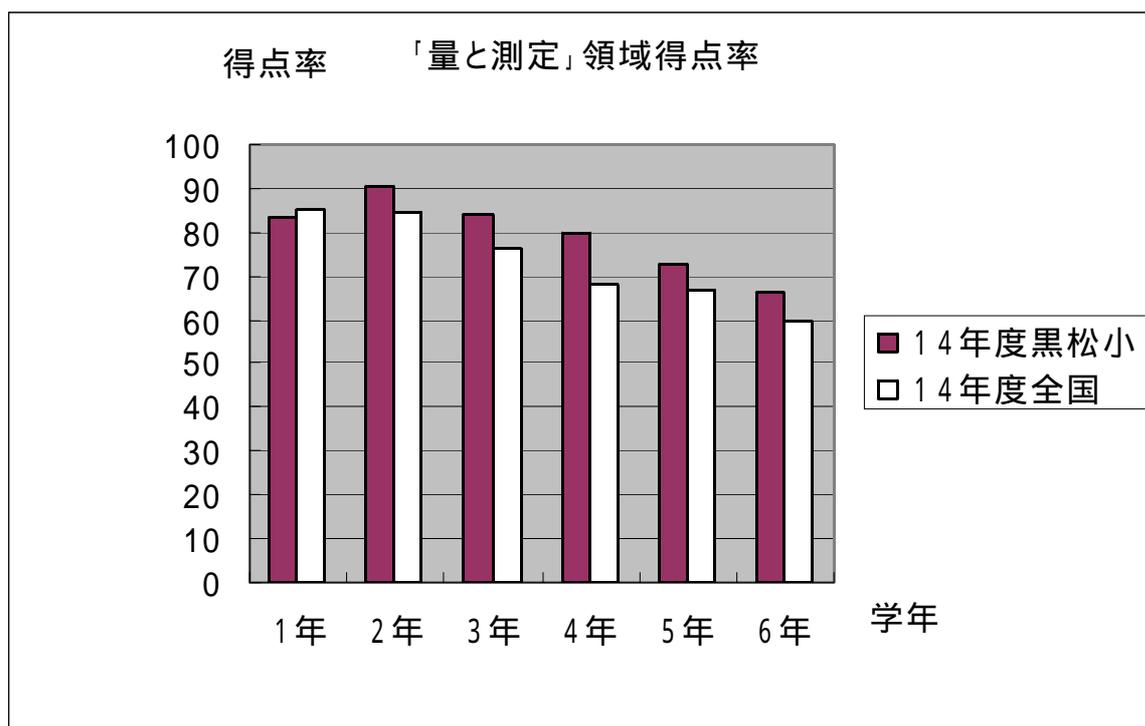
「数と計算」領域では、全ての学年で全国平均を上回っている。13年度末の検査では、4年生以上の学年で全国平均を下回っており、今回大きな伸びを示した。

「量と測定」「図形」領域では、1年生のみが若干下回る結果となった。

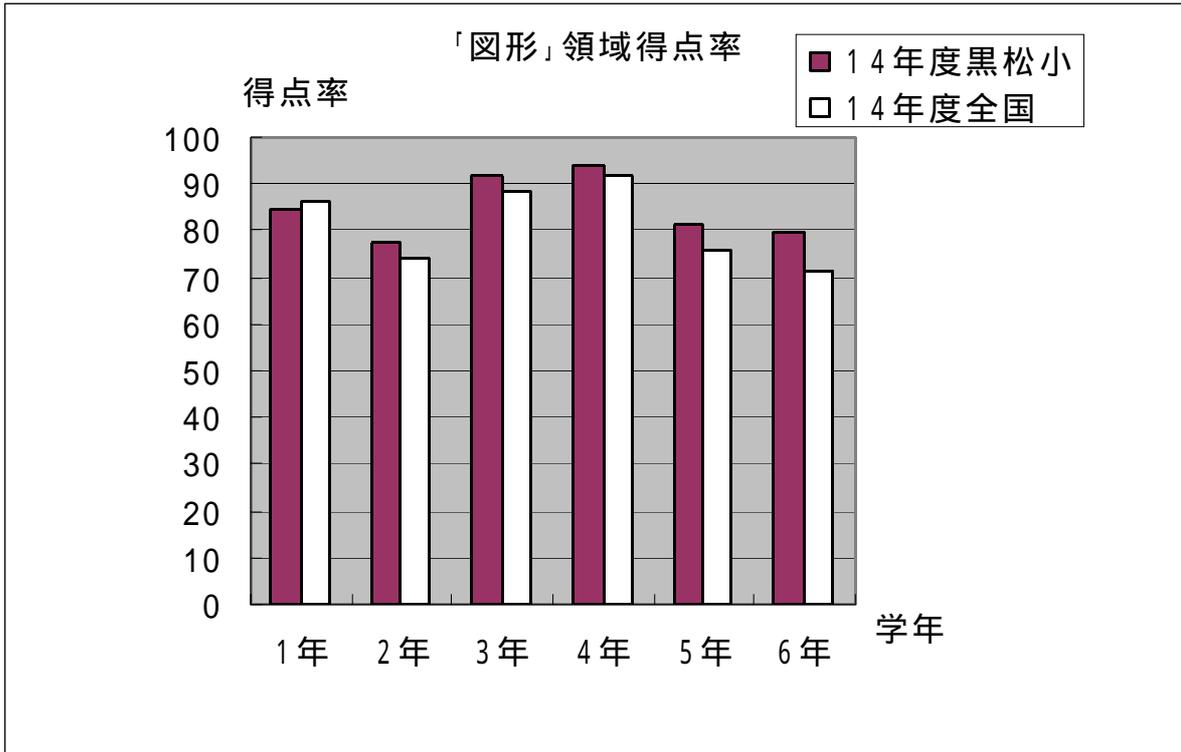
(1)「数と計算」



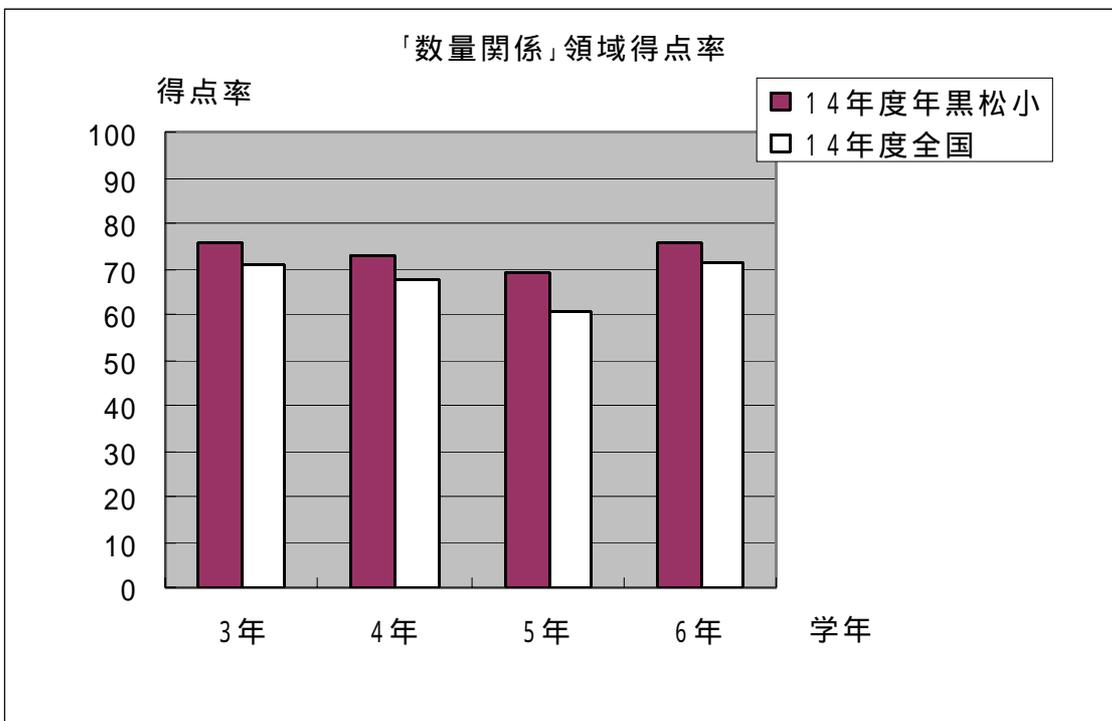
(2)「量と測定」



(3)「図形」

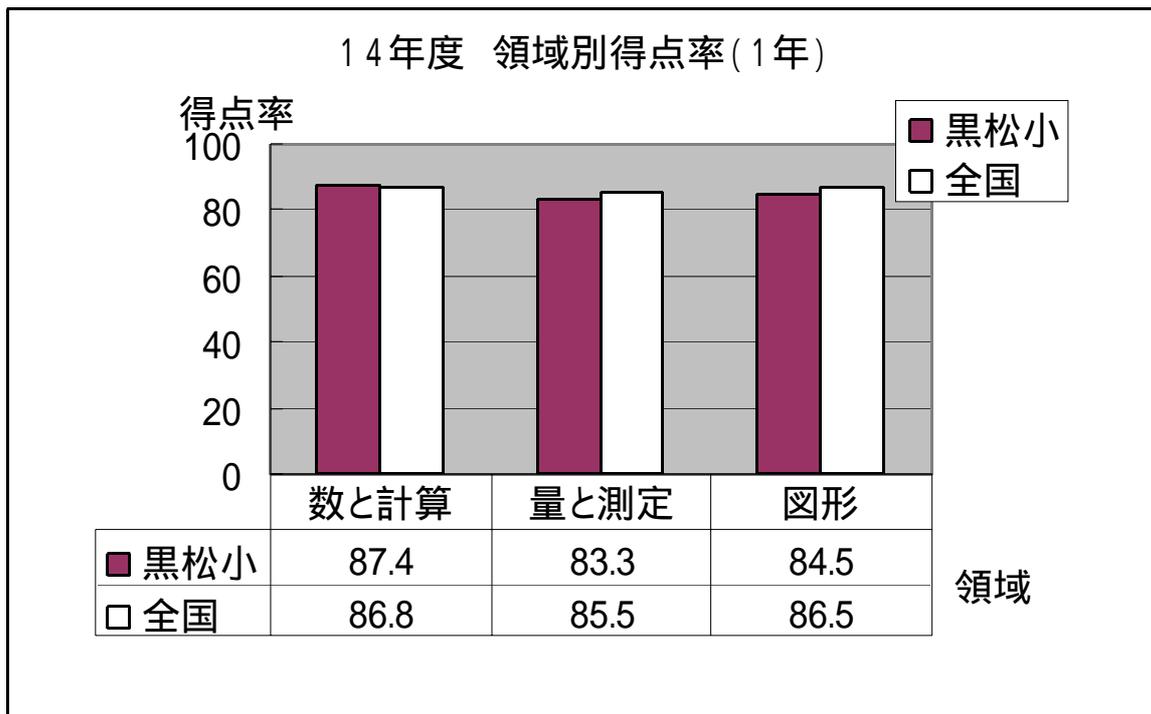


(4)「数量関係」

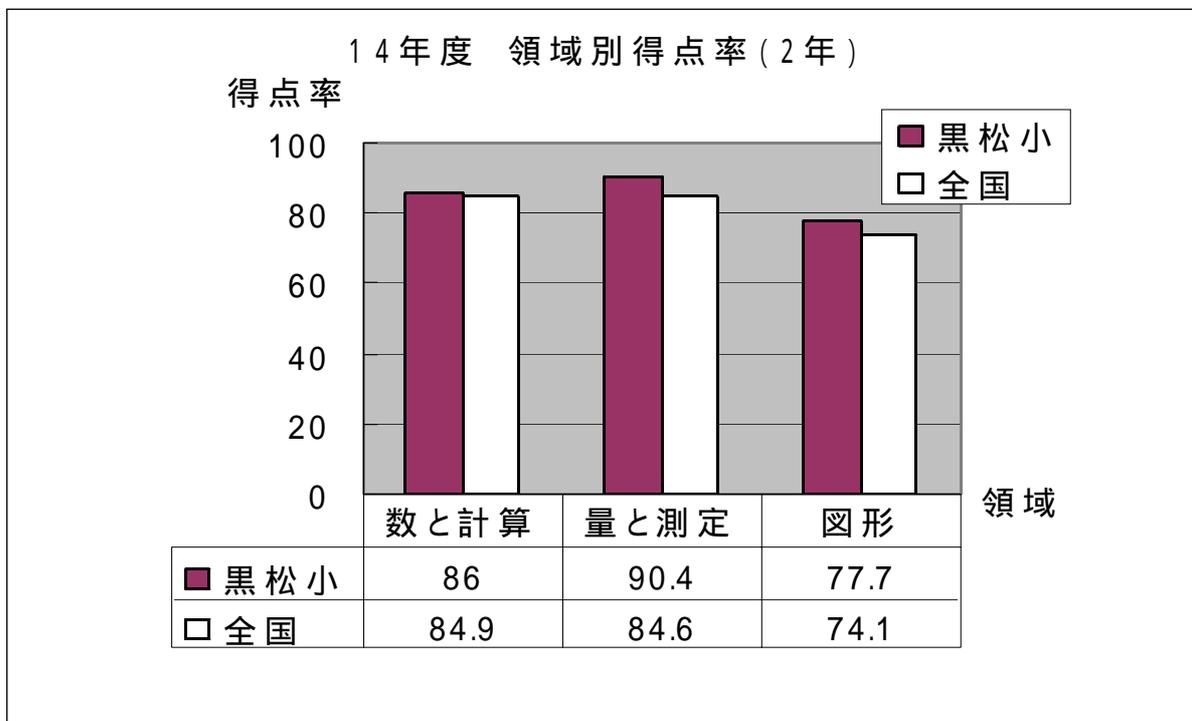


・領域別通過率（学年内比較）

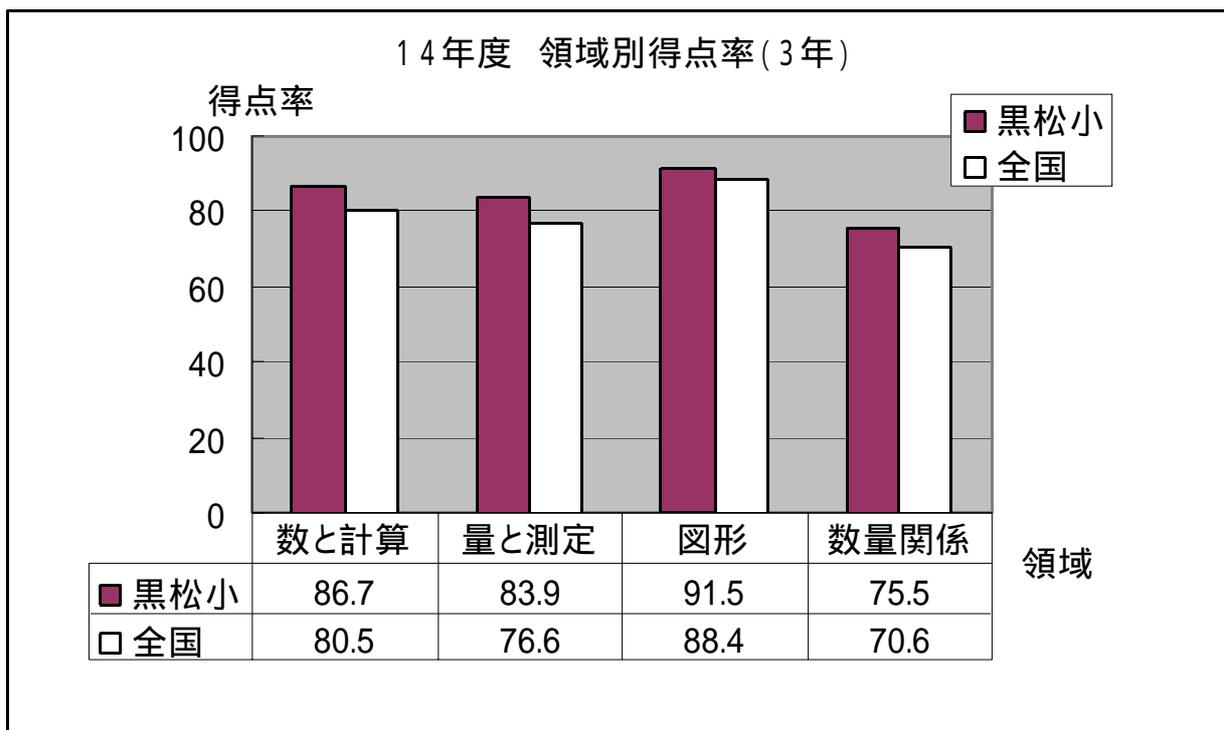
（１）１年



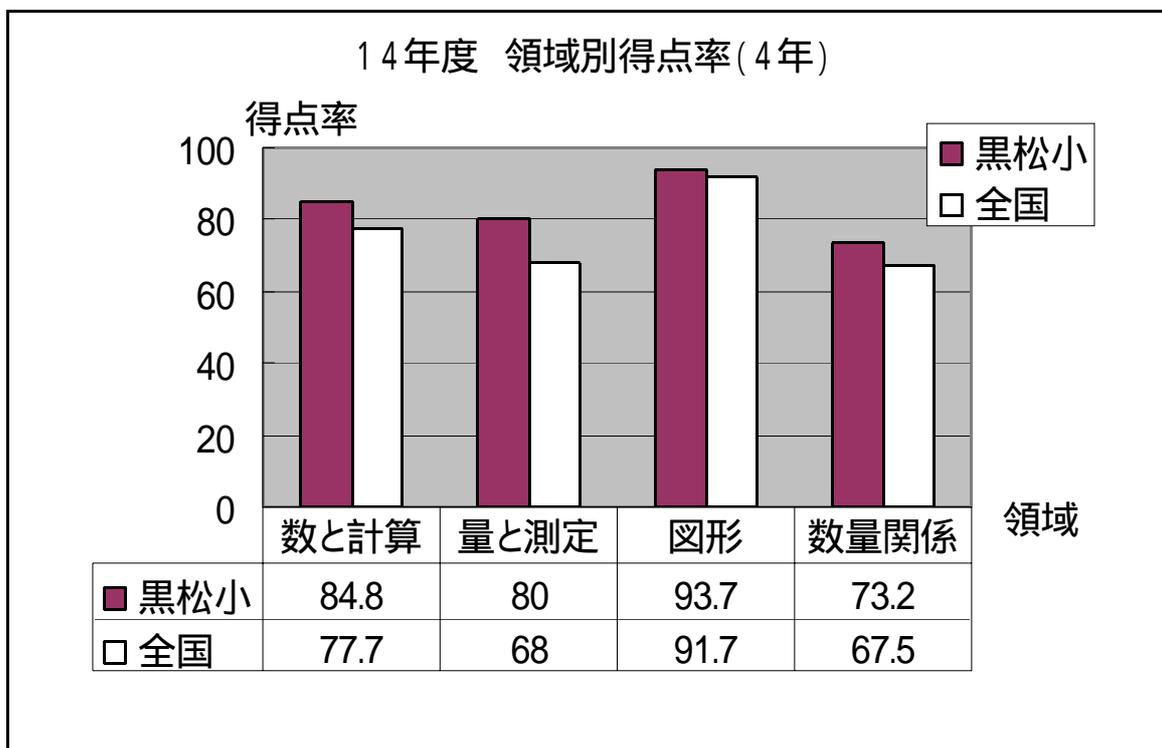
（２）２年



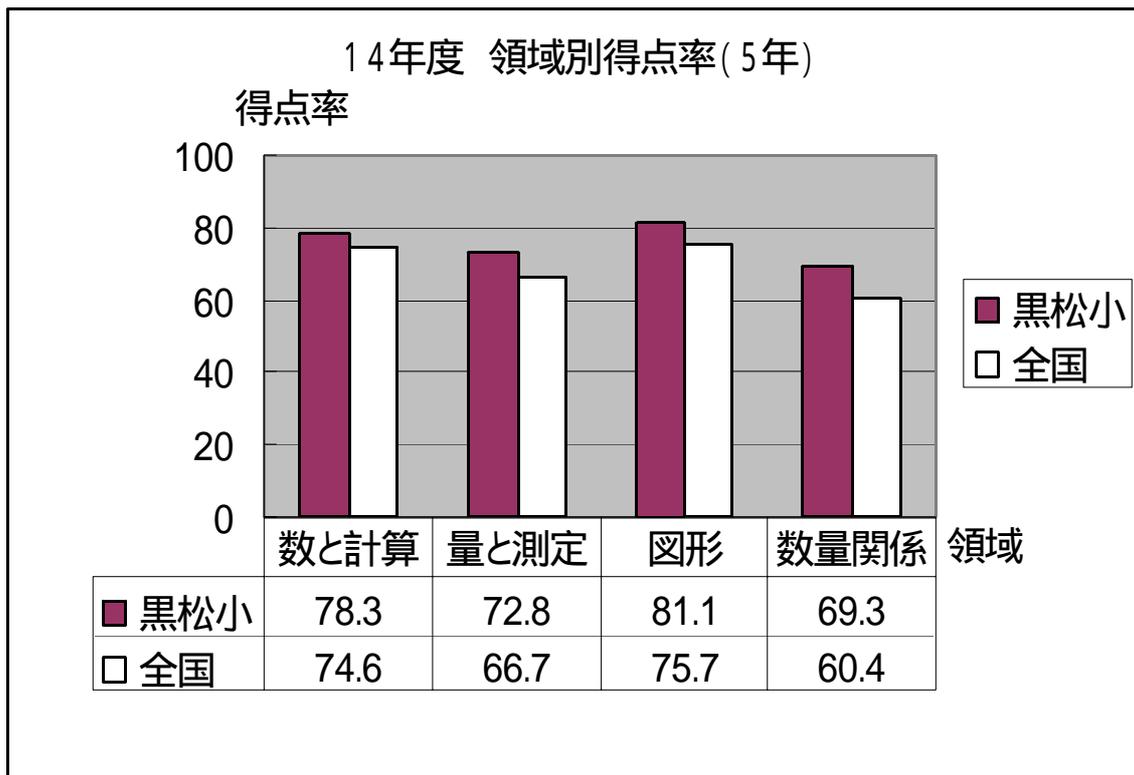
(3) 3年



(4) 4年



(5) 5年



(6) 6年

